

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
久岐通商(株)第2物流センター第1

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010  
■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.2)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>						
<b>1 音環境</b>						
<b>1.1 騒音</b>						
1	室内騒音レベル	-	-	-	-	-
2	設備騒音対策	-	-	-	-	-
<b>1.2 遮音</b>						
1	開口部遮音性能	-	-	-	-	-
2	界壁遮音性能	-	-	-	-	-
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-	-	-
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	-	-
<b>1.3 吸音</b>						
<b>2 温熱環境</b>						
<b>2.1 室温制御</b>						
1	室温	-	-	-	-	-
2	負荷変動・遠征制御性	-	-	-	-	-
3	外皮性能	-	-	-	-	-
4	ゾーン別制御性	-	-	-	-	-
5	温度・湿度制御	-	-	-	-	-
6	個別制御	-	-	-	-	-
7	時間外空調に対する配慮	-	-	-	-	-
8	監視システム	-	-	-	-	-
<b>2.2 湿度制御</b>						
<b>2.3 空調方式</b>						
<b>3 光・視環境</b>						
<b>3.1 屋光利用</b>						
1	屋光率	-	-	-	-	-
2	方位別開口	-	-	-	-	-
3	屋光利用設備	-	-	-	-	-
<b>3.2 グレア対策</b>						
1	照明器具のグレア	-	-	-	-	-
2	屋光制御	-	-	-	-	-
3	映り込み対策	-	-	-	-	-
<b>3.3 照度</b>						
<b>3.4 照明制御</b>						
<b>4 空気質環境</b>						
<b>4.1 発生源対策</b>						
1	化学汚染物質	-	-	-	-	-
2	アスベスト対策	-	-	-	-	-
3	ダニ・カビ等	-	-	-	-	-
4	レジオネラ対策	-	-	-	-	-
<b>4.2 換気</b>						
1	換気量	-	-	-	-	-
2	自然換気性能	-	-	-	-	-
3	取り入れ外気への配慮	-	-	-	-	-
4	給気計画	-	-	-	-	-
<b>4.3 運用管理</b>						
1	CO <sub>2</sub> の監視	-	-	-	-	-
2	喫煙の制御	-	-	-	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.43</b>			<b>3.5</b>
<b>1 機能性</b>						
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>						
1	広さ・収納性	<b>3.0</b>	1.00	-	-	-
2	高度情報通信設備対応	-	-	-	-	-
3	バリアフリー計画	-	-	-	-	-
<b>1.2 心理性・快適性</b>						
1	広さ感・景観	-	-	-	-	-
2	リフレッシュスペース	-	-	-	-	-
3	内装計画	-	-	-	-	-
<b>1.3 維持管理</b>						
1	維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-
2	維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-
3	衛生管理業務	-	-	-	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.52			<b>2.9</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48			
1	耐震性	<b>3.0</b>	0.80			
2	免震・制振性能	<b>3.0</b>	0.20			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.0</b>	0.33			
1	躯体材料の耐用年数	<b>3.0</b>	0.42			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	<b>3.0</b>	0.42			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	<b>3.0</b>	0.17			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	-	-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	-	-			
6	主要設備機器の更新必要間隔	-	-			

2.4 信頼性			2.5	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備		1.0	0.25	-	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.25	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.25	-	-	-
4	機械・配管支持方法		-	-	-	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.25	-	-	-
3 対応性・更新性			4.2	0.48	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	-
1	階高のゆとり	天井クレーン(揚呈8m)2台が南北に走行 軒高FL+11,000	5.0	0.60	-	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=(80+25)×2/2000=0.105	4.0	0.40	-	-	-
3.2 荷重のゆとり		倉庫業を営む倉庫のため3,900N/㎡以上	4.0	0.31	-	-	-
3.3 設備の更新性			4.2	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性		-	-	-	-	-
2	給排水管の更新性	構造体を傷めることなく更新・修復が出来る。	4.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性	構造体を傷めることなく更新・修復が出来る。	5.0	0.13	-	-	-
4	通信配線の更新性	構造体を傷めることなく更新・修復が出来る。	5.0	0.13	-	-	-
5	設備機器の更新性	構造体を傷めることなく更新・修復が出来る。	5.0	0.27	-	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.27	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.5	0.29	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	9m以上の所に窓を東西設置し自然光を利用している。	4.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		スイッチを分散し、電力量を節約できる。ERR=58.1	5.0	0.43	-	-	5.0
3a	集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	ERR=58.1	5.0	-	-	-	-
3b	集合住宅の評価		3.6	-	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	1.00	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.63	-	-	3.6
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		-	-	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.28	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	ブロック	3.0	0.28	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	鉄骨造で外装板・内装板ともビス止で、取外しが容易です。	5.0	0.34	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22	-	-	4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	内装は、石膏ボード☆☆☆☆を使用している。	5.0	0.32	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-	-
1	消火剤	粉末消火剤を使用	4.0	1.00	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		-	-	-	-	-
3	冷媒		-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		CO2を発生させる設備を使用しない。	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			3.7	0.33	-	-	3.7
2.1 大気汚染防止		CO2を発生させる設備を使用しない。	5.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		-	-	-	-	-
3	交通負荷抑制	十分な駐車スペースを確保。	4.0	0.50	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制	分別が出来るスペースを確保。	4.0	0.50	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	-
1	騒音		-	-	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.67	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	-
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.33	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-